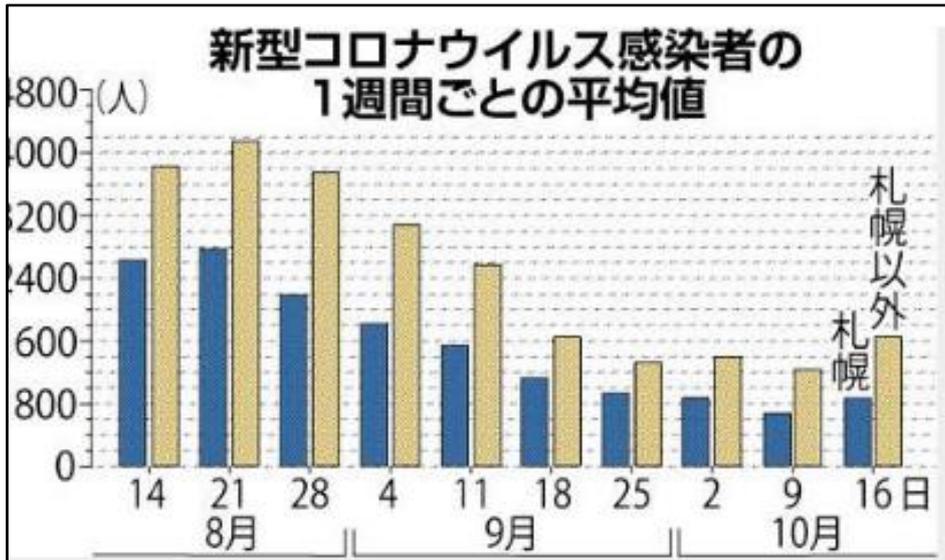


「横田教授の「コロナ」チェック>札幌市内外とも感染者増加 要因不明、推移を注視

2022年10月18日北海道新聞



全道の直近1週間10月10～16日の新型コロナウイルスの感染状況は札幌、札幌以外ともに増加しました。明確な要因は分からず、このまま増加傾向が続くのか、高止まりで推移するのかはまだ見通せません。判断するにはもう数週間注視する必要があります。

新規感染者数の週平均は、札幌が前週比27.6%増の862.0人、札幌以外が同33.8%増の1654.3人でした。札幌は減少傾向が続いていましたが、直近1週間増加に転じました。札幌以外も増加に転じており、函館を除く渡島管内のみ減少傾向が続いています。

感染者1人が何人に感染させるかを示す「実効再生産数」は札幌で0.93から1.07に、札幌以外で0.97から1.09となり、ともに感染拡大の分岐点「1」を超えました。また新規感染者を年代別で見ると、10代と40代が多く、家庭内感染が多いことがうかがえます。

感染者が増加した背景として、全国旅行支援と水際対策の大幅緩和が11日に始まり、感染対策への意識が低下した可能性があります。

感染「第7波」がこれまで減少傾向にあったのは、多くの人々が感染し各生活圏で集団免疫の獲得に近い状態ができたためと考えます。ここに来て増加に転じたのは、集団免疫による感染予防効果がなくなったからかもしれません。

現在流行主流のオミクロン株派生型「BA.5」は免疫を回避する能力が高いと言われており、一度感染した人も注意が必要です。

全国旅行支援を使ってこれから旅に出かける人もいるでしょう。食事中の会話や久しぶりに会う人と接する時は普段以上に感染対策を徹底した上で、楽しめるといいですね。旅行の前後は体調管理や健康観察をしっかりとしましょう。

今年4月以降、オーストラリアで季節性インフルエンザが流行したことから、国内でも今冬はコロナとの同時流行が懸念されています。いずれの感染対策もマスク着用や手指消毒が有効です。ワクチンで感染予防が期待できるため、接種も検討してください。(聞き手・高木緑)